



みくびだより

発行 御首神社社務所

## 御挨拶

拜啓 師走の候、皆様方におかれましては愈々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

本年三月十一日に発生しました東北地方太平洋沖地震から早九ヶ月が経とうとしておりますが、現地の傷跡は深く被災された方々の心は未だ癒えぬ状態が続いております。そのような最中当社から神職一名が、災害に遭われた神社に赴き復興支援活動の御奉仕をしてまいりました(六頁)。

また、日本中の誰もが復興活動に力を注ぎ、被災者にあつても自ら立ち上がるとうとしているときに、大型台風十二号は更なる災害を与えました。東北の被災地は無論、奈良県や和歌山県などを中心に、山崩れ・地滑り・洪水の災害が発生し、多くの尊き命が奪われ、またしても深く大きな悲しみを生みました。こうした国家レベルの災害時には、いち早く国家として最大限のバックアップを強く強くお願いする次第でございます。しかし乍ら、政界では度重なる首相交代・閣僚不適切発言と、政治不信に繋がる行動言動等が相次いでおりますが、何はともあれ先ずは、被災地の復興を第一に国政に邁進して頂きたいものであります。

さて、暗い世相の中にあつて、明るい話題と申しますと、世界遺産委員会が世界自然遺産に『小笠原諸島』が、世界文化遺産に『岩手県・平泉』が認定されましたことや、第六回女子ワールドカップ・ドイツ大会でなでしこジャパンが初優勝を得ました事は、誠に誉れ高き話題でありました。今年、全国各地で多くの自然災害が発生し、自然の驚異を改めて実感させられた一年であつたと強く感じます。当社においてもそれは例外でなく、大樹の倒木や落木により大きな損害を被りました(七頁)。

現在、平成二十四年という新しい年を、清々しく迎えますように、職員一同万全の正月準備を勤めております。皆様方には、御首の大神様の御神徳を漏れなく拝受され、愈々の御健勝と御多幸をお祈り申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

宮司 三浦 篤

# 『天孫降臨 その一』 (天孫降臨)

建御雷之男神は天の国へ戻ると、天照大御神に大國主神が

国を譲ってくれる事を伝えました。それを聞いた天照大御神

は「それならばーそれは良い報告であるが、何故に？」

「と言った」では、太子正勝吾勝々速日天の忍穂耳の命を呼

び下すわい。」と言いました。

太子正勝吾勝々速日天の忍穂耳の命が「はい、

天照大御神は「忍穂耳の命、前々から話してはおりま

が、そなたが葦原の中心国を守っていただくための準備が、い

いよ整いました。早速、葦原の中心国へ向って下さい。」

と言いました。すると忍穂耳の命は「...実は、最初にお話

を聞いたから今日までの間に子供が生まれまして、名前を天

邇岐志国邇岐志天津日高日子彥能邇邇比の命と名づけたが、

若い力溢れる我が子に、ぜひ任せたいと思っております。」

と答えました。それを聞いた天照大御神は「それでしたか。

それはおめでたいことですね。ではその日子彥能邇邇比の命

に任せたいので致しませう。」「はい、連れて参ります。」

と言いました。そのころ、日子彥能邇邇比の命は可



日子彥能邇邇比の命、おまへに見えぬ葦原の水穂

の国(葦原の中心国のこと)は、そなたが守ってほしい国

です。さあ、行きますー」伝えました。

日子彥能邇邇比の命は「その大切な仕事をゆりかご

に任せます。ちゃんと出来る力不安も有りますが、立派に

仕事をしたいと思えます。」と言った、葦原の中心国へ参

道を見下ろしました。あやっ？道の途中で、光輝いて周

りを照らしているの命けたが道をふさいでいます。これは困

り、天照大御神に相談する、直ぐに天宇受売命を呼

「おなはなはなこもつとやに見えますが、人見知りもせず堂々としていますねー。あの道をふせている老人が一体誰なのか、尋ねてみて下さいませんか?」とお願いしました。天守受売命あまのうけうりのみことは、「はい。分かりますよ。」と返事をしました。そのお爺さんの所まで行き、この尋ねました。「もち。あなた様はあなた様ですか?」この道は日子番能瀬瀬ひこまのこりまの命のみことが通じられる道です。なぜそのまじに道を塞いでいるのですか?」と聞きました。すると、そのお爺さんは「これは、邪魔をしますまな力ちからだったので。ワシは葦原の中



国に住む神で、名を猿田サヘタ古神ふるかみと申す者じや。天照大御神あまてらすおみかみさまの御子孫の神様が、この道を通じなされるのを聞いて、いつもたつてもいられず、この待つらぬのを聞いてじや。とこのも、ワシはつらつらなればならぬつらつらがのめじや、じや、じや、と泣きまわつた。

さて、立ちほだかる猿田サヘタ古神ふるかみの言ひつてな。

うん

◎ おとうさん、おかあさん、おじいちゃん、おばあちゃんへ！

今回は「天孫降臨」のお話の前半を題材にいたしました。古来より伝わる神話を、お子さまやお孫さまと一緒に読んでいただき、子供たちの情操教育の一助となりましたら幸いです。

### 東北地方太平洋沖地震 復興支援活動報告

私は、この度の大地震の発生後、神職として『私に出来ることは無いだろうか...』と常に気にかけておりました。

メディアの放つ情報には被災神社に関するものは無く、その実状は分からないまま毎日過ごしていました。



そんな折、南宮大社（宮司宇都宮精秀）【不破郡鎮座】の氏子青年会と岐阜県神道振興会が合同で九月八日から十一日にかけて、被災地神社の復興支援活動を行う運びとなりました。私はこんな機会は二度とないとはかりに、支援活動に志願し、行ってまいりました。

で実施されました。

釣石神社では、津波により高台に鎮座するご本殿以外は、全て流出し鎮守の森は、海水で殆どが立ち枯れるという惨状でありました。早速、宮司さんを始め神社総代さん方と共に、枯木の伐採作業が始められ、日没と同時に支援活動は終了しました。

私は、この活動に参加させて頂き、自然の脅威と人間が如何に微小であるかを、自身の五感で一杯感じてまいりました。また、今後起こり得るかもしれない、想定を越える自然災害に対して備える時、今回の経験を大いに役立てていきたいと思えます。

権禰宜 永井雅和



### 祭事報告

#### 末廣稻荷神社例祭

八月七日午後三時齋行末廣稻荷神社は、京都の伏見稻荷大社より昭和二十六年夏に御分霊を戴き、以来毎年八月の上旬にご例祭を齋行しております。

末廣稻荷神社の参道には、いつも崇敬篤き皆様からご奉納のごさいました幟が立ち並んでおりますが、この日に限り、氏子地域の子供たちの奉納行燈が一緒に掲げられます。

夕刻になりますと、全ての行灯の蠟燭に火が灯り、とても幻想的な雰囲気になっておりました。

#### 神明神社例祭

十月十七日午後三時齋行修繕が終えたばかりのご社殿にて、宮司以下祭員にて恙なく執り行われました。

### 諸祭典（抜粋）

- ▼ 月次祭
- ▼ 農休み祭
- ▼ 西宮神社例祭
- ▼ 夏越大祓
- ▼ 長寿祈願祭
- ▼ 崇敬会大祭
- ▼ 七五三参り
- ▼ 新嘗祭

### 崇敬会入会のご案内

本会は、「古来首より上の諸病を憂うる者此の社に願えば靈験あらたか...」と伝わりし御首神社の御神徳に感謝し、ご家族の諸病平癒・無病息災・家内安全生業繁栄並びに子孫繁栄を願う崇敬者の会として設立されました。

入会を望まれます方は、社務所までご一報下さい。早々に案内資料をご用意させていただきます。

#### 会員の特典（抜粋）

- ・ 入会報告祭の実施
- ・ 誕生特別祈禱の実施及び祈禱神符の授与
- ・ 主要祭典のご案内
- ・ 正式参拝

#### 会員の種類と年会費

個人	三千元
家族	五千元
特別	一万円
法人	二万円
名誉	三万円

#### お問い合わせ先

神社社務所まで  
〇五八四一九一三七〇〇

### 神明神社・鍬山神社 修繕・新社殿完成

当神社の境内には本殿を始め、いくつかのお社があります。本殿の北西のお社は、「神明神社」と称し、天照大御神さま(伊勢神宮の内宮)がお祀りされております。また、北東にお鎮まりのお社は、「鍬山神社」と称し、豊受大御神さま(伊勢神宮の外宮)がお祀りされております。



去る六月三日、午前八時半頃、日供祭を終えたと時を同じくして本殿裏裏にあたる御神域に天高く聳える大樹(樹齢千年は越える)と推測される御神木)が北東の方向に倒木いたし、鍬山神社社殿はその下敷きとなり全壊いたしました

(画像参照)。御神体は宮司の指示のもとに仮のお社へ即座に遷されました。しかし乍ら、被害は社殿のみならず、宮台・玉垣そしてご本社の板塀にまで及びました。

その後三週間に亘り、専門業者が大型クレーン等を駆使し撤去、続いて石工・宮大工が修繕にあたり社殿以外は完了となりました。

また、台風十二号が東海地方に接近した九月三日明け方には、強風のため巨木の枝が折れ、神明神社の社殿後部を直撃、修繕を必要としたため、鍬山神社同様に御神体は急遽仮殿に移されました。

九月二十七日には、修繕を経た神明神社社殿の据付が完了し、同日遷座祭が行われました。次いで、十月十六日には、鍬山神社の神々しいばかりの新社殿が丁重に宮台に据えられ、宮司以下祭員にて厳かに遷座の儀を齎行いたし、無事お鎮まりになりました。

この度の自然災害は、共に参拝者の多い時間帯であったにも関わらず、幸いにも人的被害は免れましたことは、誠に大神さまの御神威の現れと感謝せずにはいられません。今後益々のご神意のあらんことを願うばかりです。

### 定年職員挨拶

今年奉職二十年と言う節目の年に、定年を迎える事が出来ました。長年に亘り崇敬者の皆様より、暖かいお言葉、ご指導・ご鞭撻を賜り、誠に有り難く厚く御礼申し上げる次第でございます。



今後は、囑託として後進の指導助言に努めたいと存じます。長い間ありがとうございました。権禰宜 高田豊彦

### 崇敬会からのご奉納

- 一、御首神社鳥居前特大幟
- 一、末廣稻荷神社参道幟
- 一、龍の口



以上、ありがとうございました。

### 年祝いの皆さん

平成24年 年祝い早見表 (数え歳)		
古稀	70歳	昭和 18 年生
喜寿	77歳	昭和 11 年生
傘寿	80歳	昭和 8 年生
米寿	88歳	大正 14 年生
卒寿	90歳	大正 12 年生
白寿	99歳	大正 3 年生

ご祈祷をお受けになり  
健康な毎日を通じましよう

### 平成24年 八方塞がり早見表

方位図		抜粋	
	15年生	<b>昭和</b>	6年生
	24年生		15年生
	33年生		
	42年生		
	51年生		
	60年生		
	6年生		
高島暦参考		<b>平成</b>	

### 八方塞がりの皆さん

### 祭事案内

▼元旦祭 一月一日 午前零時  
 一年で一番初めに行われ、世界の恒久平和と、国の隆昌を願うお祭りです。

▼左義長 一月十五日 午前十時  
 この神事は、一年間に亘りご守護戴いたお札やお守りに感謝いたし、神棚の注連縄や正月の注連飾り・縁起物と一緒に焚き上げし、新しい一年の無事安全を祈る神事です。

尚、注連縄や注連飾りは、当日日中のみの受付でございますので、ご協力お願い申し上げます。



### 諸祭典(抜粋)

- ▼月次祭
- ▼年越大祓
- ▼浄火祭
- ▼祈年祭
- ▼欽山神社例祭
- ▼例大祭
- ▼南宮神社例祭
- ▼お田植え祭

### 正月御供 鏡餅料 受付中です

正月御供 (一月末まで受付)

- ・酒類・お餅・米・野菜
- ・果物・初穂料など



鏡餅料 (十二月末まで受付)  
 ・正月三日間、鏡餅を御神前にお供えいただきます。千円以上のお申込になります。

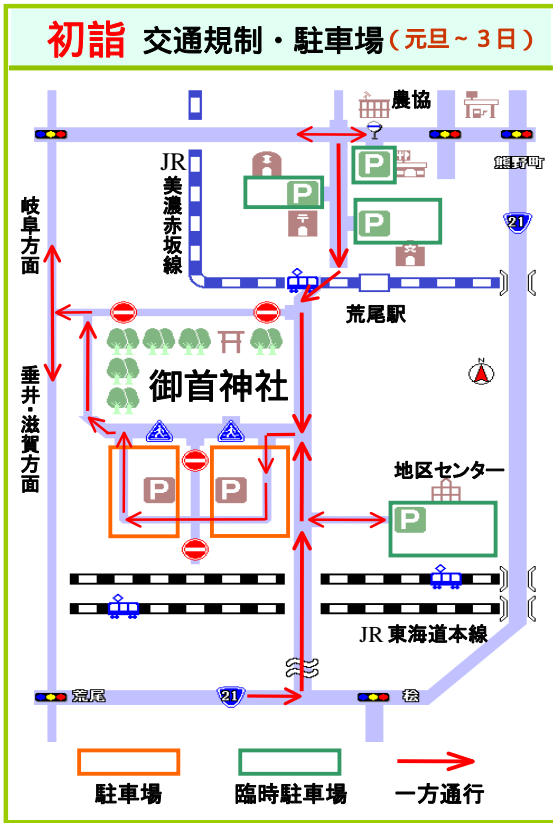
\*お下がりが授与されます。  
 \*郵送・書留等による申込受付中。詳細は社務所まで。

### 新年授与品・縁起物

#### 祈願絵馬



\*その他多数の授与品・縁起物 (数量限定) がございます。



御首神社社務所  
 岐阜県大垣市荒尾町一三三〇  
 TEL (0584) 91-3700  
 Eメール syanusyo@mikubi.or.jp

編集後記  
 今号は、「復興支援報告」掲載につき、「神職への質問Q&A」は、休載させて頂きました。

### 平成24年 厄年表 (数え歳)

	歳	前厄	本厄	後厄		歳	前厄	本厄	後厄
男	61歳	昭和28年生	昭和27年生	昭和26年生	女	37歳	昭和52年生	昭和51年生	昭和50年生
	42歳	昭和47年生	昭和46年生	昭和45年生		33歳	昭和56年生	昭和55年生	昭和54年生
	25歳	平成元年	昭和63年生	昭和62年生		19歳	平成7年生	平成6年生	平成5年生